

(別紙)

建設技術研究開発助成制度評価委員会における審査結果を踏まえた、平成15年度採択候補課題(計8課題)は以下のとおり

【一般分野】

研究開発課題名(概要)	交付申請者名	交付予定額
強震観測網を用いた都市構造物群の耐震改修戦略システムの開発 (概要)社会基盤施設の地震被害の軽減を図るため、仙台地域をモデルにした超高密度地震観測網から得られる地震動分布や建物現況データに基づき、意志決定理論を用いて戦略的に構造物群の耐震改修方法や優先度を決定するシステムを開発する。	東北大学大学院工学研究科災害制御研究センター教授 源 <sup>もとさか</sup> 栄 正人	21,110千円
財産保持性に優れた戸建制振住宅に関する研究開発 (概要)戸建住宅の耐震性を高めるため、木質及び軽量鉄骨架構の力学特性を加味した接合法の開発、低コスト小型制振ダンパーの開発、短周期領域での地震応答やその抑制法について実験・研究し、応答低減・損傷制御に優れた戸建制振住宅を開発する。	東京工業大学応用セラミックス研究所材料融合システム部門教授 笠井 和彦	38,150千円
高解像度大気汚染モデルによる道路交通政策評価システムの構築 (概要)道路交通政策の設計と評価に資するため、交通シミュレーションモデル及び排気ガス量推計モデルに三次元都市モデルを組み合わせ、大気汚染濃度を高解像度で分析できるシステムを開発する。	東京大学生産技術研究所教授 桑原 <sup>くわはら</sup> 雅夫	27,440千円
圧電高分子膜による軽量遮音パネルの研究開発 (概要)交通機関の車内や建築物の室内における外部騒音の低減に資するため、圧電性をもつ高分子フィルム・ポリフッ化ビリニデン(PVDF)と簡単な電気回路を組み合わせ、40dB以上の遮音能力を持つ、軽量で安価な遮音構造壁を開発する。	財団法人小林理学研究 所所長 山本 貢平	40,190千円
建築インフィルの静脈ロジスティクス支援ツールの開発 (概要)建築ストックの有効活用とインフィル構成材の使い回しによる資源生産性向上を実現させるため、静脈ロジスティクス(調達・物流)を稼働させるための情報支援ツールのプロトタイプを開発する。	東京大学生産技術研究所教授 野城 <sup>やしろう</sup> 智也	21,110千円

【総合技術開発プロジェクト関連分野】

自然共生型国土基盤整備技術の開発に資する研究開発

研究開発課題名（概要）	交付申請者名	交付予定額
<p>環境ホルモンの無害化と暴露量削減に関する研究開発</p> <p>（概要）公共用水域における環境ホルモン量を削減するため、簡易・省エネルギー・高効率で環境ホルモンを無害化する、微生物・オゾンなどを用いた新しい排水処理プロセスの開発を行う。また、水環境中における環境ホルモンの移動過程及び植生の浄化能力について検討し、当該排水処理プロセスの削減効果を検証する。</p>	<p>早稲田大学理工学部社会環境工学科教授 榊原 豊</p>	28,570 千円
<p>環境修復機能の高い人工干潟設計システム開発に関する研究</p> <p>（概要）環境修復機能（有機炭素・窒素等の浄化機能、多様な生物の生息・生育機能）の高い人工干潟を創出するため、合理的な設計システムを開発する。</p>	<p>東北大学大学院工学研究科土木工学専攻教授 西村 修</p>	26,930 千円

社会資本ストックの管理運営技術の開発に資する研究開発

研究開発課題名（概要）	交付申請者名	交付予定額
<p>鋼構造物の損傷度診断のための高精度超音波技術の開発</p> <p>（概要）鋼構造物の疲労損傷を高精度で効率的に診断するため、損傷箇所や欠陥形状を図面上で三次元表示できるような超音波探傷器の開発を行う。</p>	<p>東京工業大学大学院情報理工学研究科情報環境学専攻教授 廣瀬 壮一</p>	27,750 千円

以上